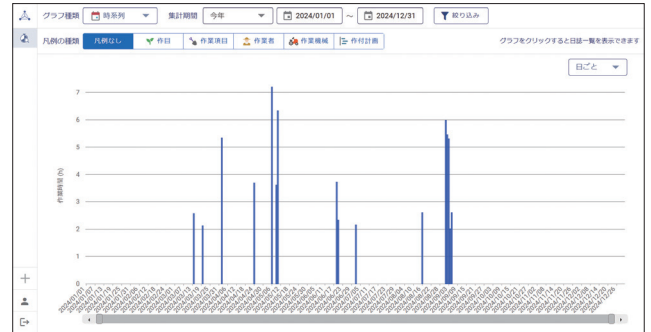
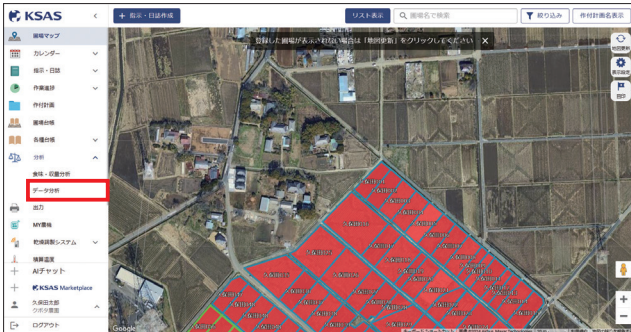


日誌のデータを元に、圃場や作業員、作付計画といったさまざまな項目で作業時間をグラフ表示する機能です。作業量の見える化により作業効率の改善を支援します。

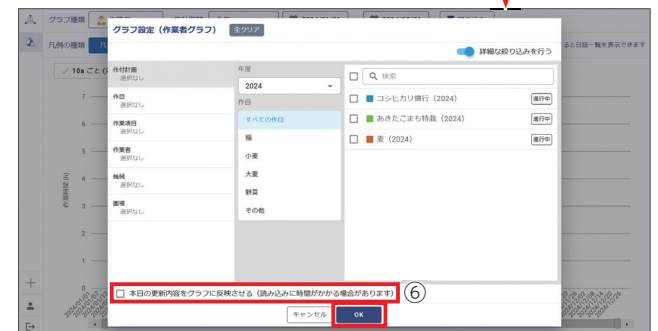
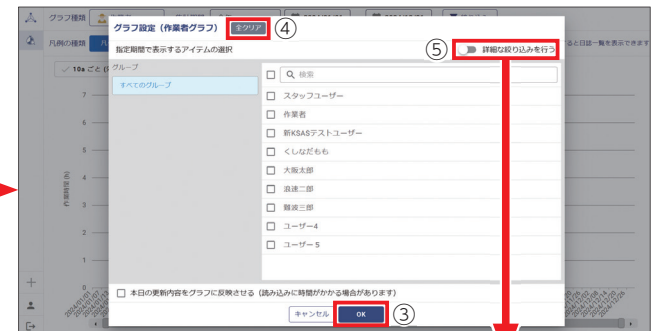
KSAS Marketplaceから「作業時間分析」を追加するとメニューが表示されます。

1 初期画面



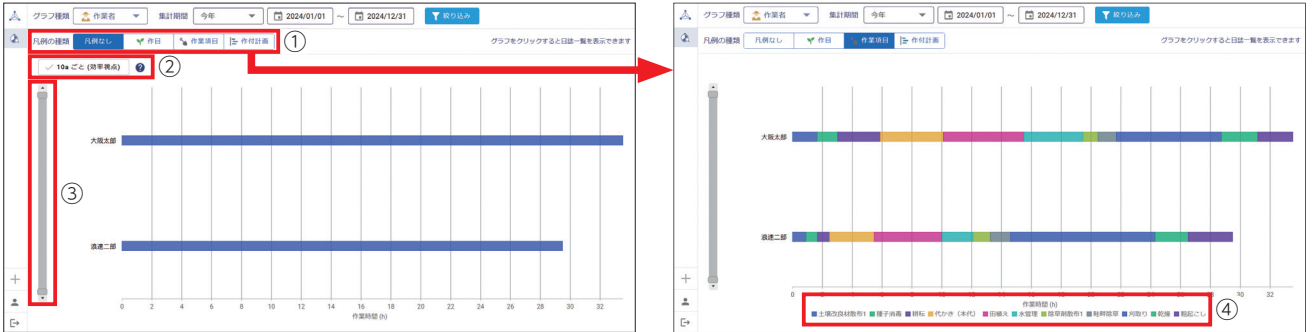
メニューの「データ分析」をクリックすると、画面が立ち上がります。

2 画面の見方



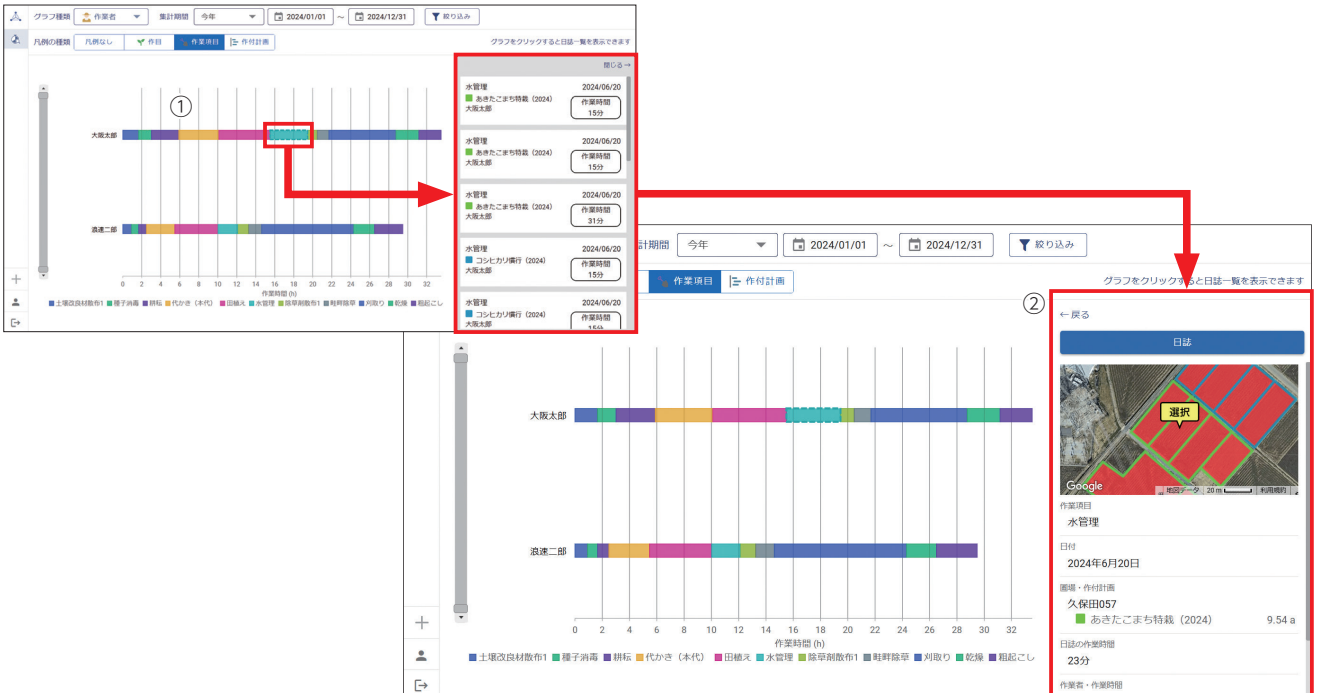
- ①集計期間は日付を入力するか、「▼」マークを押すことで、分析期間を自由に変更できます。「先週」、「今月」、「今年」などワンクリックで期間を選択することも可能です。
- ②時系列、作業項目、作業員、作業機械、作付計画、圃場、作目のいずれか確認したい作業時間のグラフの種類を選びます。
- ③選択中のグラフの絞り込み画面が表示され、該当の項目にチェックを入れて「OK」を押します。
- ④「全クリア」を押すと選択した条件がすべてクリアされます。
- ⑤さらに細かい条件で絞り込む場合、「詳細な絞り込みを行う」をクリックし、該当の項目にチェックを入れて「OK」を押します。
- ⑥当日に作成、変更された日誌は、そのままではグラフに反映されません。反映したい場合は「本日の更新内容をグラフに反映させる」のチェックを入れてください。

3 画面の見方



- ①作業時間の横軸をどの基準で表示するかを決めます。「分類なし」、「作目ごと」、「作業項目ごと」、「作付計画ごと」を切り替えて作業時間を表示することができます。
- ②作業項目、作業者、作付計画、圃場、作目のグラフでは、作業面積を10a（1反）とした場合の作業時間が表示できます。この機能によって、圃場ごとの作業効率を確認することができます。
- ③スクロールバーを使って表示範囲を調整することができます。スクロールバーの端をドラッグすると、スクロールバーの大きさが調整できます。
- ④凡例をクリックすると、そのデータが除外されたグラフが表示されます。

4 日誌の確認



- ①グラフを押すと、選択区分の集計データに紐づく日誌一覧を表示できます。
- ②該当の日誌をクリックすると詳細を確認できます。

※この画面では日誌の編集・削除を行うことができません。編集・削除はすべての指示・日誌画面から実施してください。